

もみの木のように伸び伸びと

3/27

『もみの木こども園』内覧会

3月27日、市内で初の幼保連携型認定こども園『もみの木こども園』の園舎が完成したことから、4月1日の開園に先立ち内覧会が行われました。

園は『あいさつができる子ども』『あそびがだいすきな子ども』『おもいやりのある子ども』『よくかんがえる子ども』の4つの教育目標を掲げ、園内は、天井の高いホールや子どもの目線に合った背の低いトイレなどを備え、子どもたちがすくすくと育つことのできる環境が整備されていました。



▲4月1日に開園した『もみの木こども園』



▲施設内を見学する参加者

安全・安心な水づくり 登別温泉浄水場完成記念式典 および施設見学

3/26

3月26日、登別温泉浄水場で完成記念式典および施設見学を行いました。
老朽化などにより、令和3年度から3カ年をかけて更新工事を進めていた本浄水場は、地上2階、地下2階建てで、原水となるのはクスリサンベツ川。市内約3割の家庭に水を供給します。
安定的に安全・安心な水を供給するため、最新のろ過システムや独自のクラウドシステムを導入。自動運転による施設の無人化も可能になりました。
今後も引き続き、市民の暮らしを守り、信頼される水の供給を目指します。

被災地の状況を報告

災害地派遣職員 帰庁報告

4月9日、石川県輪島市と珠洲市の両市への災害派遣から帰庁した職員が市長へ報告を行いました。
職員は、罹災証明書の発行や公費解体に係る受け付けなど派遣先での業務内容について報告。また、水道や道路などのインフラが手付かずのものが多く、いまだ復興が進んでいない被災地の現状についても報告がありました。
市ではこれまでに輪島市へ2回、2人の職員を派遣しており今回は輪島市へ1人、珠洲市へ2人の職員を派遣。珠洲市への派遣は今回が初めてとなります。

4/9



▲市長へ報告をする職員



▲交通安全を呼び掛ける参加者と新1年生

まもろう！ 交通安全ルール 新入学児童に対する交通安全啓発運動

4/9

4月9日、登別小学校で『新入学児童に対する交通安全啓発運動』（登別市・登別交通安全協会共催）を行いました。
この運動は新1年生が交通事故に遭わないよう、正しい交通ルールやマナーを啓発することを目的に、入学式に合わせて毎年実施しています。
今年の啓発運動には約30人が参加。参加者は、登校した児童一人一人に、これから安全に登下校ができるようランドセルカバーや文具類の学用品、パンフレットなどの啓発グッズを手渡し、交通安全を呼び掛けました。